

かわさきコロナ情報(動画特設)

#30 令和2年9月1日 ~緊急経済対策第4弾について~

9月1日火曜日、かわさきコロナ情報をお伝えします。

まず毎週やっておりますモニタリングでありますけれど、本日9月1日発表の新規の陽性者の方は12名になります。累計で1,151名がこれまで感染されました。

直近3週間を見てまいります。

先週8月24日から30日までの一週間で新規の陽性患者数は123名ということで、その前週126名から若干下がっておりますが、3週間見ていただきますと、ほぼ横ばいという形です。入院患者数は先週から少し下がって現在は48名の方が入院されています。

10万人当たりの新規陽性者数でありますけれど、10万人あたり8.04人ということで、その前の週の8.24人。この3週間変わりはほとんどないかなと思います。

週当たりの陽性者増加比でありますけれども、久しぶりに0.98ということで、国の基準1を下回っております。

感染経路不明者の割合でありますけれども、残念ながら58%ということで50%を上回っている状況にあります。直近1週間の陽性率ということでは、6.51%になっております。

この感染の発生状況に関する評価を毎週やっておりますけれども、川崎市の健康安全研究所岡部所長からの評価をそのまま読ませていただきます。

新規陽性者数は123人。前週と比べるとやや減少し、全体的には前々週あたりから川崎市では微減傾向となっております。しかし、入院中の患者さんの中には重症の方もおられます。できるだけ感染の広がりを少なくして、一人でも重症になる方を少なくするよう、御協力をお願いいたします。多くの学校で、2学期が始まります。これまでのところ小児年齢、乳幼児、小中学校の学童でありますけれども、新型コロナ感染者数は国内外で極めて少なく、幼児から学童年齢での重症化率も極めて低くなっています。油断は禁物でありますけれども、子どもたちが学校生活を楽しめるよう見守ってあげていただきたいと思います。なお、8月25日、文部科学大臣より保護者や地域の方々に2つ、1つは「感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等許さないこと」。2つ目「学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御支援をいただきたいこと」について、強いメッセージが発せられております。まだ暑さも続くようです。三密が避けられているような所、特に戸外や風通しの良い所で、人と人の間隔が十分あいているような所では、マスクを外し、良い空気を吸うことも健康のために大切です。

こういう評価でございました。是非今の評価を有していただいて、健康的な生活を送っていただければと思います。

続いて、川崎市の緊急経済対策についてお伝えします。

これまで、第1弾から第3弾までやっております。特別定額給付金ですとか、川崎じもと応援券、それから小規模の事業者への臨時給付金、様々やっておりますけれども、今日から始まりました市議会定例会で、第4弾ということで今回の補正予算を打ち出しております。

まず一つ目でありますけれども、新生児のいる御家庭に川崎じもと応援券を配布しようというものでございます。先ほど申し上げた特別定額給付金 10 万円の支給は、4月 27 日までに生まれた方が対象になっておりますけれども、4月 28 日以降 12 月 31 日までに出生した新生児を対象に、経済的な負担を少し軽減する目的のためにこういったものを取り組ませていただきます。

続きまして、希望する妊婦へのコロナ検査費用の補助です。妊婦さんはいろいろな不安を抱えていると思いますけれども、コロナに感染しているのか否かということは出産前にとっても不安だと思います。その不安を解消することを目的に、PCR 検査の補助を行います。是非、かかりつけの産婦人科で御相談いただきたいと思います。検査費用の2万円を上限に補助させていただきます。

続きまして、介護事業所あるいは障害福祉サービス事業所への補助ということでやらせていただきます。緊急事態宣言下においても、介護や福祉の現場で事業所を開けていただいてサービスを継続していただいた方、とても大変なことだったと思います。この中で営業を継続していただいたのですけれども、当然サービス利用者が減ったことで多大な損害を受けている事業所がたくさんあります。そこで川崎市独自の補助として、この減収額に応じて、例えば 400 万円以上減収があったところには最大 200 万円、あるいは 400 万円以下の場合はその 1/2、そして 40 万円未満であっても 10 万円といったところで補助させていただきたいと思っております。

市内中小企業の感染防止対策に関わる環境整備についての補助ということでやらせていただきます。例えば、換気設備とかサーマルカメラを設置した、あるいはアクリル板で仕切って感染対策を行い職場環境改善している、こういった改修工事だとか必要な備品の購入、こういったものの一部経費を補助するということが対象経費の4分の3を補助させていただきまます。1事業所当たりの上限額は 30 万円となっておりますので、是非御利用いただければと思います。

続きまして、子どもたちの保健安全対策ということで、市立の全小中学校へサーマルカメラを設置いたします。一度に大体 20 人ぐらいの体温を計測できるカメラを、各学校に1台ずつ配置いたします。これからもしも緊急事態で避難所が必要になった時にも、サーマルカメラが使えるのではないかと期待しているところです。

それから最後に、子ども元気プロジェクトということで、今年は、中学生はほとんどの学校で修学旅行に行っていますけれども、小学校6年生は毎年であれば日光に修学旅行に行きますけれども、残念ながら修学旅行が中止になってしまいました。そこでそれに代わるイベントをなんとかできないかということで、近くにあるよみうりランドを3日間貸切りまして、4,000 人ずつ子どもたちに使ってもらって楽しい思い出を作ってもらいたいという思いで、こういったことも今回の予算に含まれております。

感染対策ですとか事業者支援、防災対策、デジタル化、こういったものを合わせますと、今回の第4弾は総額 68 億円の予算になっております。今日から始まりました川崎市議会でこの

審議をしていただく予定でございます。会期は 10 月 12 日までで、早めに議決をもらって早く準備に入る、こういった議会での審議を通じてより良いものを作っていきたいと思っています。

今日のところは以上です。